

平成 27 年度

「運営に関する計画」

(H27. 5. 1 学校協議会資料)

大阪市立住吉川小学校

1 学校運営の中期目標

1-1 学校運営における現状と課題

- 言語力(特に「読むこと」の学力向上が必要である。(平成 25 年度全国学力・学習状況調査や「大阪市のしんだん」などの結果から)
- 「自尊感情」「規範意識」の育成に課題がある。(日常生活や児童アンケートなどから)
- 「体力合計点」を全国平均に近づける体力向上が必要である。(平成 25 年度全国体力運動能力・運動習慣調査の結果から)
- 学力向上の基盤となる生活体験が不十分で、人間関係が希薄な児童が少なくない。(日々の学校生活、授業づくりなどから)

1-2 学校運営の中期目標

- 【学力の向上】 (カリキュラム改革関連)
 - 読み書きの技能を向上させ、正確に人に伝えられる適切なコミュニケーション能力を育成する。
 - ・ 平成 28 年度の全国学力・学習状況調査における「読むこと」に関する項目の平均正答率を、平成 24 年度より 10 パーセント向上させる。
 - ・ 平成 28 年度の国語科「しんだん」における「読むこと」に関する項目の平均正答率を、平成 24 年度より 10 パーセント向上させる。
 - ・ 平成 28 年度の全国学力・学習状況調査における無答率を、2 パーセントに減少させる。
 - ・ 平成 28 年度の国語科「しんだん」における無答率を、2 パーセントに減少させる。
 - ・ 校内の児童アンケートで「自分の考えを積極的に発表すること」「自分の考えや出来事をわかりやすく書くこと」を(できる・どちらかというところ)と答える児童数を 70 パーセントに向上させる。
 - 読書に親しみ、ことばを豊かにする。
 - ・ 児童の年間読書量を平成 24 年度より、20 パーセント増やす。
 - 【道徳心・社会性の育成】 (カリキュラム改革関連)
 - 自尊感情を高め規範意識を高める。
 - ・ 平成 28 年度の全国学力・学習状況調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を平成 24 年度より 10 % 向上させる。
 - ・ 平成 28 年度に実施する「学校のやくそく」に関する調査における児童の割合を 90 % 以上にする。
 - ☆「すすんであいさつをする」で「できている」と答える児童の割合。
 - ☆「ルールやマナーを守れた」と答える児童の割合。
 - 【健康・体力の保持増進】 (カリキュラム改革関連)
 - 体力を向上し、健康的な生活を送るように意識づける。
 - ・ 新体力テストの結果を、「全国体力運動能力・運動習慣調査」検証シートで分析し、「体力合計点」を全国平均に近づける。
 - ・ 生活習慣アンケートの結果から、生活習慣が向上した児童の割合を 3 年間で平成 24 年度の水準より 10 % 上回る。
 - 【多様な体験学習の充実】 (カリキュラム改革・グローバル化改革・学校サポート改革)
 - 参加体験型学習を多く取り入れ、児童の人間性を豊かにする。
 - ・ 授業アンケートを実施し、「参加体験型学習によって自分の生活や成長に役立った。」の項目が 90 % 以上にする。
- ※参加体験学習は、校外学習の他、ソーシャルスキルやピアサポートも含む。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【学力の向上】（カリキュラム改革関連）

○「読むこと」を楽しみ、豊かに表現できる子どもを育てる。

取組内容 国語科を中心に言語力を育成する授業改革に取り組む。

- 指標 ・校内国語アンケート「国語の学習は好きですか」の項目において、「好き」「どちらかというとき」と答える児童比率を、年度当初より5%向上させる。
- ・平成27年度「しんだん」の無答率を、平成26年度より2ポイント減少させる。
 - ・平成27年度「しんだん」の「言語事項」について、本校平均正答率とし平均との差を、前年度より縮める。
 - ・児童の年間読書量を平成26年度より5%向上させる。

【道徳心・社会性の育成】（カリキュラム改革関連）

○自尊感情を高める。

取組内容 ピアサポートを学校行事や学級経営に取り入れる

- 指標 ・校内の児童アンケートで「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について(あてはまる・どちらかというときあてはまる)と答える児童の割合を75%以上にする。

○規範意識を育てる。

取組内容 「オアシス運動」を充実させる。

- 指標 ・校内の児童アンケートで「学校の約束」について、次の項目で(できている・どちらかというときできている)と答える児童の割合を80%以上にする。
- 「自分から進んで挨拶をしている」H26 72%から8%上回る。
 - 「学校のルールやマナーを守っている」H26 74%から6%上回る。

【健康・体力の保持増進】（カリキュラム改革関連）

○体力の向上を図る。

取組内容 広い運動場を生かして運動を楽しむ児童を育てる。

- 指標 ・新体力テストの結果を全国体力運動能力・運動習慣等調査の検証シートで分析し、「体力合計点」を平成26年度より上回るようにする。

○健康の保持増進を図る。

取組内容 健康週間・安全週間を充実させ、健康な生活の習慣化を図る。

- 指標 ・校内の児童アンケートで、次の項目で(当てはまる・どちらかといえば当てはまる)と回答する児童の割合を全学年で平成24年度を上回るようにする。
- 「手洗いやうがいをしていますか」(平成24年度73%)
 - 「ハンカチやティッシュを学校にもってきていますか」(平成24年度77%)

【多様な体験学習の充実】（カリキュラム改革・グローバル化改革・学校サポート改革）

○参加体験型学習を多く取り入れ、児童の学びを豊かにする。

取組内容 英語活動・芸術鑑賞・社会見学などについて計画・実行・評価・改善とPDCAマネジメントサイクルで検証し充実を図る。(特に子どもの実態に応じた事前の計画と事後の振り返りを充実させる。また、前期・後期だけでなく、参加体験学習の中の一つからもアンケートを取る。)

- 指標 ・校内の児童アンケートを実施し「参加体験型学習によって自分の学びや成長に役立った」の項目で、(あてはまる・どちらかといえばあてはまる)の回答を児童85%以上、保護者90%以上にする。

平成27(2015)年度 運営に関する計画評価シート

研究部

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【学力の向上】 ○「読むこと」を楽しみ、豊かに表現できる子どもを育てる。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容①【学力の向上】国語科を中心に言語力を育成する授業改革に取り組む。 （カリキュラム改革関連）	
指標 校内国語アンケート「国語の学習は好きですか」の項目において、「好き」「どちらかというとき」と答える児童比率を、年度当初より5%向上させる。	
取組内容②【学力の向上】国語科を中心に言語力を育成する授業改革に取り組む。 （カリキュラム改革関連）	
指標 平成27年度「しんだん」の無答率を、平成26年度より2ポイント減少させる。	
取組内容③【学力の向上】国語科を中心に言語力を育成する授業改革に取り組む。 （カリキュラム改革関連）	
指標 平成27年度「しんだん」の「言語事項」について、本校平均正答率とし平均との差を、前年度より縮める。	
取組内容④【学力の向上】国語科を中心に言語力を育成する授業改革に取り組む。 （カリキュラム改革関連）	
指標 児童の年間読書量を平成26年度より5%向上させる。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

平成27(2015)年度 運営に関する計画評価シート

生活指導部

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【道徳心・社会性の育成】 ○自尊感情を高める。 (カリキュラム改革関連) ○規範意識を育てる。 (カリキュラム改革関連)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容① 【自尊感情の育成】 ピアサポートを学校行事や学級経営に取り入れる (カリキュラム改革関連)	
指標 校内の児童アンケートで「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について(あてはまる・どちらかというかとあてはまる)と答える児童の割合を75%以上にする。	
取組内容② 【規範意識の育成】 「オアシス運動」を充実させる。 (カリキュラム改革関連)	
指標 校内の児童アンケートで「学校の約束」について、次の項目で(できている・どちらかというかとできている)と答える児童の割合を80%以上にする。 「自分から進んで挨拶をしている」H26 72%から8%上回る。 「学校のルールやマナーを守っている」H26 74%から6%上回る。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

平成27(2015)年度 運営に関する計画評価シート

健康教育部

評価基準 A：目標を上回って達成した C：取り組んだが目標を達成できなかった	B：目標どおりに達成した D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった
---	--

年度目標	達成状況
【健康・体力の保持増進】 ○体力の向上を図る。 (カリキュラム改革関連) ○健康の保持増進を図る。 (カリキュラム改革関連)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【体力の向上】 広い運動場を生かして運動を楽しむ児童を育てる。 <div style="text-align: right;">(カリキュラム改革関連)</div> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> 指標 新体力テストの結果を全国体力運動能力・運動習慣等調査の検証シートで分析し、「体力合計点」を平成 26 年度より上回るようにする。	
取組内容②【健康の保持増進】 健康週間・安全週間を充実させ、健康な生活の習慣化を図る。 <div style="text-align: right;">(カリキュラム改革関連)</div> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> 指標 校内の児童アンケートで、次の項目で(当てはまる・どちらかといえば当てはまる)と回答する児童の割合を全学年で平成 24 年度を上回るようにする。 「手洗いやうがいをしていますか」(平成 24 年度 73%) 「ハンカチやティッシュを学校にもってきていますか」(平成 24 年度 77%)	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

平成27(2015)年度 運営に関する計画評価シート

教務部

評価基準 A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<p>【多様な体験学習の充実】</p> <p>参加体験型学習を多く取り入れ、児童の学びを豊かにする。</p> <p style="text-align: right;">(カリキュラム改革関連)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
<p>取組内容①【参加体験型学習の充実】英語活動・芸術鑑賞・社会見学などについて計画・実行・評価・改善とPDCAマネジメントサイクルで検証し充実を図る。 (特に子どもの実態に応じた事前の計画と事後の振り返りを充実させる。また、前期・後期だけでなく、参加体験学習の中の一つからもアンケートを取る。)</p> <p style="text-align: right;">(カリキュラム改革関連)</p>	
<p>指標 校内の児童アンケートを実施し「参加体験型学習によって自分の学びや成長に役立った」の項目で、(あてはまる・どちらかといえばあてはまる)の回答を児童85%以上、保護者90%以上にする。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点